

社 会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会
17	教 出	小学社会
116	日 文	小学社会

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	(第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の学び方の例 (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界 の主な国の例 (第6学年) 世界文化遺産の扱いと国の形 成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学び方のポイント、学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列、分量	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い
		⑥ 現代的な諸課題の扱い	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真、地図、グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数
		⑧ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例と具体例
		⑩ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫	収集した情報をもとに、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例

	1時間ごとの学習問題の記載 (第3学年)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルの左横に「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程とともに、「どのような～でしょうか。」「～は、なぜでしょうか。」等の問いかけの形態で提示している。 ○ 見開きごとに、各学習過程で示した問いを端的に表現したタイトルを項目で示している。 ○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちは、どんな店で買い物をしているのでしょうか。」「家の人は、なぜその店に行くのでしょうか。」 ○ 「よく行く店」 ○ 学習問題「スーパーマーケットではたらく人は、多くの人々に買い物をしてもらうために、どのようなくふうをしているのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの左側に「この時間の問い」として「どのような～だろう。」等と、右下側に「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうなっているだろう。」等と問いかけの形態で提示している。 ○ 「この時間の問い」を解決するための学習活動をタイトルとして項目で示している。 ○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人たちは、どのような店で買い物をしているのだろう。」「地図やグラフにまとめると、どこの店で買い物をしたのかわかるね。買い物のしくみはどうなっているのかな。」 ○ 「買い物はどこで」 ○ みんなでつくった学習問題「店ではたらく人たちは、お客さんによるこんでもらえるようにどのようなくふうをして売り上げを高めているのだろう。」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルの左横に「どのような～だろう。」「～わけは何だろう。」等の問いかけの形態で本時の問いを提示している。 ○ 見開きごとに左横に提示している「問い」を解決するための学習活動をタイトルとして項目で示している。 ○ 「見方・考え方」、「学び方・調べ方コーナー」等を提示し、学習課題解決の見通しを持つことができるように示している。 ○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人がよく買い物をするのは、どのような店なのだろう。」「たくさんのお客さんが、買い物に来るわけは何だろう。」 ○ 「買い物をしている店を調べる」 ○ 見方・考え方「買い物調べのけっかと、自分たちの生活は、どうつながっているだろう。次のようなことに注目して考えてみよう。①よく行く店はどこか。等」、学び方・調べ方コーナー「読み取る 買い物調べのまとめ方・読み取り方、『どんな品物の買い物がいちばん多いか。』」 ○ 学習問題「スーパーマーケットは、たくさんのお客さんに来てもらえるようにするために、どのようなくふうをしているのだろう。」

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	地図帳の使い方の例

地図帳の使い方の例 (第3学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図帳を使おう」において、「地図帳を使うと、自分たちが住んでいる市や県についてくわしく知ることができます。」と示し、位置や様子等が地図帳で調べられることを提示している。 ○ 「市の様子」の単元において、「まなびのポイント」として「地図帳で、市の形や位置をかくにんしてみよう。」と学習活動を提示し、「地図帳で調べると、福岡市は、福岡県の中で西がわにあり、たくさんの市や町ととなりあっています。」「市の形を紙にかいてたしかめ、白地図をつくりました。」と本文中に示している。また、「まなび方コーナー」を設け、「さくいんを読み取る」として、「地図帳で福岡市の位置を調べる」手順を示している。 ○ 「店ではたらく人」の単元において、品物の産地を調べる資料として、「ねふだやパッケージに、つくられたところの地名が書いてあったよ。地図帳で見たら、どこにあるのかわかるかな。」「品物の産地やその国の国旗を、地図帳でたしかめよう。」等、調べた産地をまとめた図を示して地図帳の活用について示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「店ではたらく人と仕事」の単元において、商品の仕入れを調べる資料として、「店がどこから商品を仕入れているのか、地図帳を使って調べました。次に、それらの産地を白地図にまとめました。」と、本文と産地をまとめた白地図を示して地図帳の活用について示している。 ○ 「じょうほうを読み取る 地図帳を使って調べよう」において、本文に「地図帳には、さまざまな地いきの地図がのっています。知らない地名が出てきたら、まず地図帳を開いて、その場所を、たしかめるようにしましょう。」と示している。例として大阪府を取り上げ、「自然の山や川、鉄道や道路など、知りたいことを決めて地図を見るといいよ。」「色によって土地の高さを分けているよ。うすい色の場所はひくい土地で、こい色の場所は高い土地だよ。」と、地図帳の活用目的及び土地の高低についての地図の見方を示している。また、「さくいんの使い方」の手順を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの住んでいる市のようす」の単元において、地図記号について、「地図帳には、どんな地図記号が使われているのかな。かくにんしてみよう。」と、地図帳の活用を示している。 ○ 単元「店ではたらく人びとの仕事」の「品物の産地を調べよう」において、品物の産地を調べる資料として、「地図帳で産地の場所を調べて、白地図にかきこんでいこう。」と吹き出しで示すとともに、本文で「調べた産地を白地図にかきこんで産地マップをつくりました。」と、調べたことをまとめた産地マップも示して地図帳の活用を示している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー 見る・調べる」において、見開きで「地図帳の使い方」を示している。「地図帳のさくいんの使い方」では、自分の住んでいる市をさくいんを使って調べる手順について、「地図帳の地図の見方」では、姫路市を例にページや記号、色分け等地図帳の表記の特徴について示している。

【社会】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	47 都道府県の学び方の例

47 都道府県の学び方の例 (第4学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県の祭りや観光地について写真で例示し、8つの道県の特産物についてイラストで例示している。 ○ 「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。 ○ 「空から日本を見てみると」で、各都道府県の海、山、川、湖等の地形を示している。 ○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、各都道府県の形、特産品、特徴、県庁所在地などをカードにし、都道府県名を記入できるようにしている。 ○ 「この教科書に出てきた主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みりょくがいっぱい！知りたいな、47 都道府県」で、特産物、祭り、観光地について17の道府県を写真で例示している。 ○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「47 都道府県のクイズ大会を開こう！」で、クイズを作ることを促し、広島県について、文章で特色を例示している。 ○ 「この教科書に出てくる主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、自分たちの住んでいる都道府県を問い、まわりの都道府県をたずねている。家族といっしょに訪れた都道府県をたずねている。 ○ 「教科書に出てきたおもな地名」で、取り上げた県・市・町を地図上に示している。 ○ 都道府県の特徴を調べる視点となる写真を掲示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	日本の位置と領土についての扱い

日本の位置と領土についての扱い (第5学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置, 領土・領海の範囲, 竹島, 尖閣諸島, 北方領土 ○ 写真…与那国島, 沖ノ鳥島, 択捉島, 南鳥島, 竹島, 尖閣諸島, 歯舞群島, 西之島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に続く歯舞群島, 色丹島, 国後島, 択捉島は, 日本固有の領土です。ところが, 80年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦が占領し, その後もソビエト連邦をひきついでロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は, これらの島を返すように求めて, 交渉を続けています。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海上にある竹島は, 日本固有の領土ですが, 韓国が不法に占領しているため, 日本は抗議を続けています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は, 日本が有効に支配する固有の領土です。中国がその領有を主張していますが, 領土問題は存在しません。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置, 領土・領海の範囲, 竹島, 尖閣諸島 ○ 写真…北方領土, 竹島, 尖閣諸島 ①北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・択捉島もふくめ, 国後島・色丹島・歯舞群島の, 北海道の北東に連なる島々は, 北方領土とよばれる日本の領土です。しかし, 1945(昭和20)年, 太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占領し, そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ, 今にいたっています。日本は, 北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。 ②竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の竹島では, 韓国が自国の領土であると主張し, 不法な占拠を続けています。 ③尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島については, 領土問題はないというのが日本の立場ですが, 中国も自国の領土であると主張しています。 ○ (①～③に続き)日本は, これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え, 課題の平和的な解決に向けて, ねばり強く努力を続けていく必要があります。 ○ 「日本固有の領土, 竹島と尖閣諸島」のトピックを1ページ設ける。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置, 領土の範囲, 竹島, 尖閣諸島, 北方領土 ○ 写真…与那国島, 沖ノ鳥島, 択捉島, 南鳥島, 竹島, 尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・75年ほど前, 第二次世界大戦ののち, ソビエト連邦は, 択捉島や, その近くにある国後島, 色丹島, 歯舞群島を占領しました。これらの島々は, 北方領土とよばれ, 現在, ソビエト連邦を引きついでロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため, 日本政府は, これらの島々を返すように, ロシアにはたらきかけ, 話し合いを続けています。日本の人々は, これらの島々が1日も早く返ってくることを願っています。 ・北方領土や竹島, 尖閣諸島も, 日本固有の領土なんだね。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海にある竹島は, 日本固有の領土ですが, 現在, 韓国が不法に占拠しているため, 韓国にくり返し抗議しています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は, 日本固有の領土で, その領有については, 問題がないにも関わらず, 中国が自国の領土であると主張しています。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例

	世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年)	世界の主な国の例 (第5学年)
東 書	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, ロシア, 中華人民共和国, 大韓民国, アメリカ合衆国, カナダ, ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア, インド, サウジアラビア, トルコ, 南アフリカ共和国, エジプト, イギリス ○ まわりの国々 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 中華人民共和国 (中国), ロシア連邦, モンゴル, フィリピン
教 出	<p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス, フランス, ドイツ, ロシア連邦, 中華人民共和国 (中国), タイ, インド, インドネシア, サウジアラビア, エジプト, ガーナ, 南アフリカ共和国, オーストラリア, ニュージーランド, カナダ, アメリカ合衆国, メキシコ, ペルー, ブラジル, アルゼンチン ○ まわりの国々 ロシア連邦, モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), フィリピン共和国
日 文	<p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, イタリア, エジプト, 南アフリカ共和国, サウジアラビア, インド, ベトナム社会主義共和国, 中華人民共和国 (中国), 大韓民国 (韓国), フィリピン共和国, ロシア連邦 (ロシア), オーストラリア, カナダ, アメリカ合衆国 (アメリカ), チリ, ブラジル ○ まわりの国々 ロシア, モンゴル, 中華人民共和国 (中国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 韓国, フィリピン共和国

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方

	世界文化遺産の扱い (第6学年)	画像で掲載されている世界文化遺産 (第6学年)	国の形成に関する考え方 (第6学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 「日本の世界文化遺産」で世界文化遺産を写真入りで紹介している。 ○ 巻末の年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺地域の仏教建造物(法隆寺)、古都京都の文化財(金閣、銀閣、東求堂、竜安寺の石庭)、姫路城、石見银山遺跡とその文化的景観(石見银山)、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、明治日本の産業革命遺産(端島炭鉱跡、官営八幡製鉄所)、琉球王国のグスク及び関連遺産群(首里城)、厳島神社、原爆ドーム、紀伊山地の霊場と参詣道(熊野古道)、古都奈良の文化財(正倉院、唐招提寺)、富士山-信仰の対象と芸術の源泉-、ル・コルビュジェの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献- (国立西洋美術館)、富岡製糸場と絹産業遺産群(官営富岡製糸場)、日光の社寺(日光東照宮の陽明門)、平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(中尊寺金色堂、毛越寺の庭園)、白川郷・五箇山の合掌造り集落 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ 神話の中のヤマトタケル ○ 資料の記述内容 ・ ヤマトタケルノミコトは、武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行って、クマノを平らげ、休む間もなく、東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは、広い野原で焼きうちにあたり、あれる海とたたかたりして、苦勞をしながら征服を進めました。ところが、都へ帰る途中、病気でなくなりました。すると、ヤマトタケルのたましいは、大きな白鳥に生まれ変わって、都の方へ飛んでいきました。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのてびき」で世界遺産のマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。 ○ 「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺、東大寺の大仏、唐招提寺、正倉院、厳島神社、中尊寺金色堂、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、石見银山、日光東照宮、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ ヤマトタケルの話 ○ 資料の記述内容 ・ ヤマトタケルは、天皇である父の命令で九州におもむき、クマノをうちとりました。次に関東のエミシを従えるよう命じられました。ヤマトタケルは、その途中で、広い野原で焼きうちにあたり、荒れる海とたたかたりするような困難にあいながらも、関東を征服しました。しかし、その帰り道に、病気でなくなりました。ヤマトタケルは、大きな白い鳥になって、大和のほうへ飛んでいったということです。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産のマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺、東大寺の大仏殿・大仏、正倉院、平等院鳳凰堂、熊野本宮大社、厳島神社、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、日光東照宮、首里城、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ ヤマトタケルノミコト ○ 資料の記述内容 ・ 昔、ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。皇子は、朝廷に従わない豪族を討てという天皇の命令を受けました。皇子は、苦勞しながら各地の豪族をたおしていきました。しかし、都へ帰るとちゅうで病気になる、都がある大和の美しい景色を思いうかべながら、短い一生を終えたということです。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	歴史上の人物の扱いと事例

	歴史上の人物の扱い ＜てびきの表記＞及び内容	事例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 棚田嘉十郎, 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 前野良沢, 大塩平八郎, 坂本竜馬, 津田梅子, 与謝野晶子, 夏目漱石, 樋口一葉, 新渡戸稲造, 田中正造, 平塚らいてう, 市川房枝, 山田少年, 高木兼寛, ナイチンゲール, 昭和天皇, 大隅良典 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像 ○ 「学問のすゝめ」(写真)(文章) 福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は, 340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には, 人間は生まれながらにして平等であること, 一国の独立は個人の独立にもとづくこと, 個人の独立には, 学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を, 当時の知識人を中心とした人々は競って読みました。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 北条政子, 竹崎季長, 伊東マンショ, シャクシャイン, 松尾芭蕉, 大塩平八郎, 徳川吉宗, 坂本竜馬, 徳川吉宗, 青木昆陽, 山口尚芳, 岩倉具視, 津田梅子, 渋沢栄一, 楠瀬喜多, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 志賀潔, 新渡戸稲造, 山田孝野次郎, 平塚らいてう, 後藤新平, 石川倉次, 南方熊楠, 杉原千畝, オバマ大統領, 湯川秀樹, 山中伸弥 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(出没年) ○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) 江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の下級武士の家に生まれた福沢諭吉は, 家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は, 「学問のすゝめ」という本で, 「天は人の上に人を造らず, 人の下に人を造らずといえり。」と書いて, 人は生まれながらにして平等であり, 学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたくさんの部数が売れ, 新しい時代の中で, 多くの人々に影響をあたえました。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 阿倍仲麻呂, 菅原道真, 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 雨森芳洲, 前野良沢, 大塩平八郎, 岩倉具視, 坂本龍馬, 徳川慶喜, 山口尚芳, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 津田梅子, 平塚らいてう, 山田孝野次郎, 斉藤隆夫, マッカーサー, 山中伸弥 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肖像(生没年)(文章) 中津藩(大分県)出身で, 下級武士の子どもでした。欧米にもわたり, 『学問のすゝめ』を書くなど, 教育者としてかつやくしました。 ○ 『学問のすゝめ』(写真)(文章) この本の中で福沢諭吉は, 次のように書いています。 「天は人の上に人をつくらず, 人の下に人をつくらずといわれるように, 人はみな, 生まれながらに平等である。 また, 学問のなかでも世の中の役に立つ実学にはげむことで, 人は独立することができる。一人一人の独立が, やがて日本の独立につながるのである。」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例

	導入の工夫 (第5学年)	興味・関心を高める問いの例
東 書	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球の様子や学習活動の具体を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちの国土」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真、地球儀を使った学習活動を示している。 ・疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「日本は地球のどこにあるのだろう。」 「世界の陸地や海は、どのようになっているのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 「日本は、地球のどこにあり、人々のくらしはどのようになっているのでしょうか。」
教 出	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真や地図などで地球の様子や学習活動を提示するとともに、キャラクターや児童の話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真、世界地図の一部、地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターや児童による話し言葉で掲載している。(吹き出し数9) 「わたしの知っている外国は、地球のどのあたりにあるのかな。」 「日本は、大きな陸地のとなりにある島国だね。」 ・下段に「次につなげよう」を掲載している。 「世界の国々を地球儀で旅してみようよ。」
日 文	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球や日本、地域の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土と人々のくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真、日本、中部・関東地方、近畿・中国地方の衛星写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「いくつかの大きな陸地のかたまりがあるね。それぞれがちがった形をしているよ。」 「わたしたちの住む大阪市は、どこにあるのかな。」 ・上段に見方・考え方を掲載している。 「宇宙から地球を見ると、どこに、何があるのだろう。」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	学び方のポイント、学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫

	学び方のポイント (第6学年)	学び方の具体例 (第6学年)	体験的な学習を実施するための工夫 (第6学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「政治・国際編」の最初の単元の中程(12～13ページ)に、見開きで「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる」学習を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことをもとに、他の学習に「ひろげる」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 <ul style="list-style-type: none"> ・つながりの深い国を見つけて発表し、学習問題をつくる。 ・つながりの深い国について調べる。 ・調べたことを話し合い、日本と似ているところとちがうところを表に整理する。 ・学習問題に対して考えたことを意見文にまとめ、発表する。 ・学習をいかして、国際交流について考える。 ・学習をひろげて、他の国について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今に伝わる室町文化」 <ul style="list-style-type: none"> 「ひろげる」の学習の中で、「室町文化を体験してレポートを書こう。」というページを設け、茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め、キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、次の学習や暮らしに「つなげる」、学習を「ひろげる」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 <ul style="list-style-type: none"> ・つながりの深い国についてみんなで学習問題をつくる。 ・つながりの深い国について調べる。 ・調べた国について、観点ごとに表に整理する。 ・整理したものをもとに、みんなでつくった学習問題について、視点の例を示し、話し合う。 ・学習をひろげて、他の国について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「室町文化と力をつける人々」 <ul style="list-style-type: none"> 「まとめる」の学習の中で、茶の湯の写真を提示し、茶の湯を外国から来た旅行者に説明する活動を設け、児童の説明文を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、「この教科書の使い方」のページを設け、「わたし(たち)の問題」「友だちの発言」「学習活動」「学習内容」「学習問題」「学習の計画」という言葉で、学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習活動については、単元ごとに「学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことをもとに、学習問題について話し合う活動を設定している。単元によっては、単元末に、もっとくわしく調べてみたいことを取り上げる「わたしたちの学びを生かそう」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つながりの深い国々のくらし」 <ul style="list-style-type: none"> ・つながりの深い国について学習問題をつくる。 ・つながりの深い国について調べる。 ・日本とつながりの深い国をさらに調べる。 ・調べてきた国についての学習をふり返り、学習問題について話し合う。 ・さらに考えたい問題をつくり、調べ、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今に伝わる室町文化と人々のくらし」 <ul style="list-style-type: none"> 「調べる」の学習の中で、茶の湯や生け花を体験する児童の写真と、体験した児童の感想を提示している。

【社会】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤ 単元や資料等の配列, 分量
方法	単元の構成と分量, 補充的・発展的教材の分量, 地域事例の扱い

	サマ	単元の構成と分量 (第5学年) ※補助・選択教材を含む	補充的・発展的教材の分量	地域事例 ※〈 〉は発展的教材
東書	ワイド	[上巻 116 ページ] ○ 国土 (58) ○ 農業・水産業 (58) [下巻 138 ページ] ○ 工業 (54) ○ 情報 (42) ○ 環境 (42)	[上巻] (10) [下巻] (26)	○ 国土 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ・〈長野県飯田市〉 ・沖縄県 ・北海道札幌市, 十勝地方 ・〈秋田県横手市〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・〈福井県福井平野〉 ・長崎県長崎市 ・〈茨城県坂東市〉 ・〈福島県福島市〉 ・〈鹿児島県曾於市〉 ○ 工業 ・愛知県豊田市 ・〈長崎県長崎市〉 ・〈岡山県倉敷市〉 ・〈山口県和木町〉 ・〈静岡県焼津市〉 ・福井県鯖江市 ・東京都大田区 ○ 情報 ・〈広島県広島市〉 ・〈兵庫県姫路市〉 ・〈兵庫県豊岡市〉 ・〈和歌山県広川町〉 ○ 環境 ・白神山地 (青森県, 秋田県) ・秋田県大館市, 北秋田市 ・京都府京都市 ・〈熊本県水俣市〉
教出	ワイド	[242 ページ] ○ 国土 (54) ○ 農業・水産業 (62) ○ 工業 (52) ○ 情報 (32) ○ 環境 (42)	(11)	○ 国土 ・沖縄県 ・長野県南牧村 ・北海道 ・千葉県香取市 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・新潟県南魚沼市 ・北海道根室市 ・鹿児島県長島町 ・〈岩手県一関市〉 ・〈宮城県気仙沼市〉 ・徳島県藍住町 ・高知県高知市 ・岩手県岩手町 ・山梨県甲州市 ・熊本県阿蘇地方 ・〈大阪府〉 ・〈兵庫県明石市〉 ○ 工業 ・福岡県苅田町 ・東京都大田区 ・大阪府東大阪市 ・岩手県 ○ 情報 ・福岡県 ・熊本県 ・佐賀県 ○ 環境 ・岩手県宮古市 ・高知県土佐町 ・福岡県北九州市
日文	ワイド	[274 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (66) ○ 工業 (56) ○ 情報 (48) ○ 環境 (44)	(10)	○ 国土 ・沖縄県 ・北海道旭川市 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・千葉県銚子市・佐賀県佐賀市 ・宮崎県えびの市, 都城市 ・和歌山県有田市 ・高知県安芸市 ・〈山形県鶴岡市〉 ○ 工業 ・三重県鈴鹿市 ・兵庫県たつの市 ・千葉県君津市 ・愛知県知多市 ・大阪府東大阪市 ・〈兵庫県神戸市〉 ○ 情報 ・福岡県福岡市 ・兵庫県豊岡市 ・福岡県久留米市 ・〈千葉県千葉市〉 ○ 環境 ・三重県四日市市 ・大和川 (奈良県, 大阪府) ・東京都多摩地区 ・狭山丘陵 (埼玉県, 東京都) ・小笠原諸島 ・〈神奈川県小田原市〉

※ () はページ数

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な諸課題の扱い
方法	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い

	自然災害から人々を守る活動についての扱い (第4学年)	国土の自然災害についての扱い (第5学年)
東 書	<p>【地震(18) 発展：風水害(2)火山災害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 静岡県内の自然災害を調べている。 ○ 静岡県内の地震及び地震によって起こる被害を調べている。 ○ 地震に備えた家庭や学校の取組や設備を調べている。 ○ 市役所職員の話から、地震に備えた市の役割を調べている。 ○ 避難行動計画やハザードマップ、自主防災隊を取り上げ、市や住民の取組を調べている。 ○ 地震から人々を守る取組をカードにまとめている。 ○ 地震が起きて、学校が避難所になった場合、自分はどうか考えている。 	<p>【自然災害 (12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べている。 ○ 地震が発生する原因と地震災害から人々を守るための取組を調べている。 ○ 津波が発生する原因と津波の災害から人々を守るための取組を調べている。 ○ 風水害、火山や大雪による災害から人々を守るための取組を調べている。 ○ 自然災害と国土とのかかわりや、防災の取組をまとめ、調べて分かったことと考えたことをノートにまとめている。
教 出	<p>【地震(16) ※選択：水害(12)火山災害(2)雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害による被害を調べている。 ○ 地震や津波に備えた身近な設備を調べている。 ○ 市役所職員の話やハザードマップを取り上げ、市の役割や情報伝達の取組を調べている。 ○ 避難地や津波避難タワーを取り上げ、災害に備えた施設や設備を調べている。 ○ 静岡県内の地震や津波の歴史を調べている。 ○ 地震に備えた地域住民の取組を調べている。 ○ 夜の避難訓練など、地震や津波に備えた更なる取組を調べている。 ○ 地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。 	<p>【自然災害 (13)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国で起こった自然災害とその種類を調べている。 ○ 国土交通省の人の話や宮古市田老地区の取組を取り上げ、大津波から人々を守るための取組を調べている。 ○ 大地震の原因と大地震から人々を守るための取組を調べている。 ○ 津波や地震以外の自然災害について、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。 ○ 自然災害の発生とその対策について表にまとめ、自然災害との向き合い方を考えている。
日 文	<p>【水害(16) ※選択：地震(4)津波(6)火山災害(2)雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都の自然災害を調べている。 ○ 東京都の水害及び水害の被害を調べている。 ○ 東京都で起こった水害の原因を調べている。 ○ 地下調節池を取り上げ、水害を防ぐ施設を調べている。 ○ 森林と水害の関係を調べている。 ○ メール配信サービスやハザードマップを取り上げ、災害に備えた情報伝達のための取組を調べている。 ○ 水害対策訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。 ○ 災害に備える取組をまとめ、自分たちにできることを考えている。 	<p>【自然災害 (14)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べている。 ○ 自然災害が発生する原因を調べている。 ○ 東日本大震災を取り上げ、自然災害が人々の生活や産業に与える影響を調べている。 ○ 防災に関する情報やハザードマップを取り上げ、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。 ○ 自然災害から命を守るために自分たちにできることやどのような備えが必要か話し合っている。

※ () はページ数

【社会】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	写真，地図，グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数

	使用されている写真，地図，グラフ等の資料 (第5学年)	「我が国の工業」に関する資料の種類と数 (第5学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，地図，主題図，図，鳥瞰図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ， 雨温図，年表，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (42)，イラスト (9) ○ 地図 (3)，主題図 (7)，図 (16) ○ 棒グラフ (5)，折れ線グラフ (2)， 帯グラフ (7)，円グラフ (4)
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，地図，主題図，図，鳥瞰図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ， 雨温図，年表，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (40)，イラスト (2) ○ 地図 (2)，主題図 (11)，図 (28) ○ 棒グラフ (7)，折れ線グラフ (4)， 帯グラフ (2)，円グラフ (4)， 表 (2)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，地図，主題図，図，鳥瞰図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ， 雨温図，年表，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (41)，イラスト (10) ○ 地図 (4)，主題図 (7)，図 (9) ○ 棒グラフ (3)，折れ線グラフ (3)， 帯グラフ (3)，円グラフ (5)

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑧本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注の扱い

脚注・側注の扱い (第3学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「めあて」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学び方コーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を広げる4つの視点・方法（「広がり」「時間」「関係するところ」「くらべる、分ける、まとめる、つなげる」）を示している。 ○ 「まなびのポイント」により、その時間の学習の流れを示している。 ○ 「ことば」により、用語の解説を示している。 ○ 「Dマーク」により、インターネットを使った学習ができることを示している。 ○ 「教科かんれんマーク」により、他教科の内容との関わりを示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに、キャラクターの吹き出しにより、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「活動」により、その時間の学習の流れを示している。 ○ 「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。 ○ 「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ○ 「まなびリンク」マークにより、インターネットを使った学習ができることを示している。 ○ 「かいせつ」により、用語の解説を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「見方・考え方コーナー」を設け、社会的な見方・考え方を広げる3つの視点・方法を示している。 ○ 「やってみよう」コーナーにより、具体的な学習活動を示している。 ○ 「キーワードコーナー」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ○ 「むずかしいことば」マークにより、用語の解説を示している。 ○ 「デジタルマーク」により、インターネットを使った学習ができることを示している。 ○ 「世界いさんマーク」により、世界遺産に登録されているものを示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例と具体例

	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例 (第3・4学年)	具体例 (第3学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵地図、白地図、しょうかい地図、メモ、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、かべ新聞、ていあん文、関係図、仕事さがしメモ、表、標語、年表、たんざく、ポスター (第3学年) ○ 白地図、産業マップ、図、カード、年表、ポスター、表彰状、4コマCM (第4学年) 	<p>くらしを守る</p> <p>1 火事からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係図 (火事からわたしたちのくらしを守る人々のはたらきを関係図にまとめました。) <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事さがしメモ (「仕事さがしメモ」をつくり、けいさつの仕事について調べました。) ・表 (事故や事件からくらしを守るはたらきについて表にまとめました。) ・標語 (今まで学習したことをもとに、標語をつくってみようよ。)
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵地図、表、白地図、ポスター、買い物調べカード、買い物地図、グラフ、かんけい図、メモ、ノート、作物カレンダー、ちらし、標語、安全マップ、道具調べカード、年表、絵カード (第3学年) ○ 地図、表、図、ノート、カード、標語、関係図、すごろく、ガイドマップ (第4学年) 	<p>地いきの安全を守る</p> <p>1 火事からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白地図 (地いきの消防せつびを調べて、白地図にまとめました。) ・かんけい図 (火事からまちを守るしくみを、かんけい図にまとめました。) ・標語 (消防の取り組みの中から自分がいちばん大切だと思うことを標語にまとめ、発表することにしました。) <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんけい図 (事故や事件からまちを守るはたらきについて、かんけい図にまとめることにしました。) ・安全マップ (地いきの安全マップをつくりました。)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発見カード、白地図、ガイドマップ、表、産地マップ、キャッチコピー、きけんカード、見学カード、校しゃの地図、ノート、安全マップ、年表、カード、表 (第3学年) ○ PR紙、ノート、カード、標語、すごろく、カルタ、人物カード、図、年表 (第4学年) 	<p>安全なくらしを守る</p> <p>1 安全なくらしを守る人びとの仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学カード (ゆいさんたちは、見学カードをつくり、消ぼうしょへ見学に行くことにしました。) ・校しゃの地図 (学校の消ぼうせつびのある場所としゆるいを調べ、①のように校しゃの地図にかき入れました。) ・安全マップ (学校のまわりの安全マップをつくりました。) ・ノート (「さらに考えたい問題」についてノートにまとめました。)

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫
方法	収集した情報をもとに、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

	単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫	具体例 (第6学年)
東 書	○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史上の人物になったつもりで、当時の世の中について説明する。 ・ 文化の特色について話し合ったり、キャッチコピーを作り発表したりする。 ・ ミニパネルディスカッションを行い、自分の考えを述べるとともに質問や意見を述べ合う。 ・ 歴史上の人物の業績について、まとめ説明する。 ・ 文化の特色について、キャッチフレーズを作り発表する。 ・ 調べたことを年表でふり返り、学習問題について話し合う。 ・ 一言コメントをつけた年表をもとに、時代を表すキャッチフレーズを作り、友だちと話し合う。 ・ 自分の意見をノートに書き、友だちと話し合う。 ・ 一人一人がノートにまとめた内容について話し合い、グループでまとめて発表する。 ・ カードを使って学習してきた歴史を振り返りみんなで発表し合う。 ・ 公園づくりについて自分の願いを出し合う。 ・ 多様な意見をとりまとめるためにどうすればよいか、みんなで話し合う。 ・ 新聞記事から気になったものについて整理して発表し、発表して感じたことや考えたことを話し合う。 ・ 学習問題について調べてきたことを話し合う。 ・ 学習問題に対して考えたことを意見文にまとめて発表する。
教 出	○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「つなげる」場面において、「説明しよう」「話し合おう」と提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主従関係について、関係図を見ながら説明する。 ・ 文化について学習したことを生かして説明する。 ・ 支配体制の確立に向けて行った政策を順位づけして並べ、また、そのような順位にした理由を説明する。 ・ 年表を見ながら、できごとのつながりや意味などについて考えたことを話し合う。 ・ 戦場が広がっていった経緯を、関係図に表して説明する。 ・ 歴史から学んだことを意見文に表して伝え合う。 ・ 調べてきたことを作品にまとめて発表し合い、お互いの発表から考えたことを話し合う。 ・ 三権分立のしくみを表した図を使って説明する。 ・ 住民になったつもりで、自分の考えを理由とともに説明する。 ・ 国民の政治への参加について話し合う。 ・ 心に残ったことを理由とともに発表する。 ・ 自分が実行したいと思うことを選び、理由とともに発表する。
日 文	○ 単元末や単元後の「わたしたちの学びを生かさそう」場面において、の学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが調べてまとめたノートや資料をもとにしながら、学習問題について話し合う。 ・ 自分たちの考えを書いたノートや、資料をもとに話し合う。 ・ 学習したことをノートにまとめ、学習問題について自分たちの意見を出し合う。 ・ 学習問題について話し合い、自分の考えをノートにまとめた後、さらに友だちと話し合う。 ・ 文化の特色をたしかめ、学習問題について話し合う。 ・ 学習した内容について振り返り、学習問題について話し合う。 ・ 年表にまとめ、学習問題について話し合う。 ・ 新聞にまとめ、学習問題について話し合う。 ・ 学習したことを振り返り、学習問題についてみんなで話し合う。 ・ 区役所や区議会などはたらきを調べ、学習したことをもとに、学習問題について話し合う。 ・ 政治の問題点について話し合う。 ・ 奈良時代から現代までの交通について話し合う。 ・ さらに考えたい問題について話し合う。 ・ 自分ができることを考え、発表する。